

Fujitsu AIドリブン モダナイゼーションサービス

ソリューション概要のご紹介

AIエージェント連携により、モダナイゼーションの 高度化・短工期化を実現し、企業変革を加速

「Fujitsu AIドリブンモダナイゼーションサービス」は、最先端AIと当社の実践知・専門人材を組み合わせ、モダナイゼーションの高度化とスピード化を実現するサービスです。



01

モダナイゼーションの自動化



- 品質とスピードを同時に最大化
- 大規模移行の工期を約40%短縮

02

マルチAI型モダナイゼーション



- 最先端AIを最適編成
- AI選定・運用負荷から解放

03

ナレッジドリブン型モダナイ



- AIが当社数千規模のプロジェクト知見を学習
- ナレッジ活用モデルにより再現性・信頼性・確実性を向上

04

自走化サービス基盤（順次提供）



- お客様自身のAI活用を支援
- 継続的な改善サイクルを実現し企業価値向上へ

01 モダナイゼーションの自動化



品質の一貫性の確保とリスク抑制を両立しながら、
大規模・複雑なモダナイゼーションの工期を約**40%**短縮します。

特長

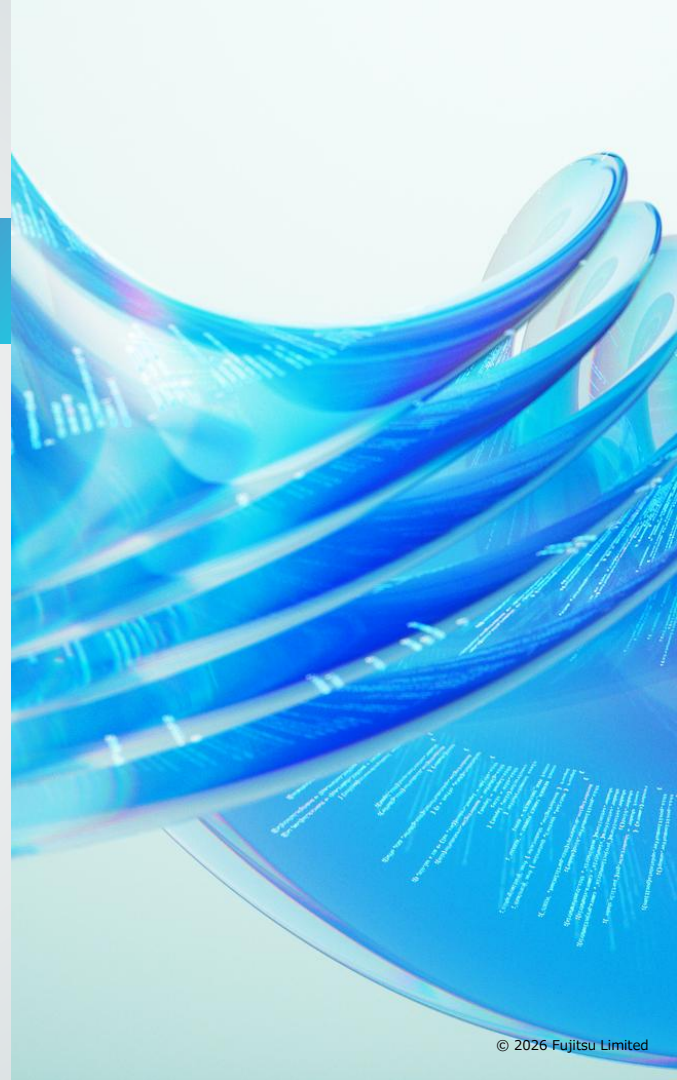
各工程を自動化・制御し、品質とスピードを同時に最大化

- ・モダナイ対象資産を横断で分析し、「AI-Ready」データとして一元化
- ・AIエージェントによる工程オーケストレーションを実現

優位性

高速かつ確実にモダナイゼーションを実現する 実行モデル

- ・ハーネスエンジニアリング&ループエンジニアリングによる大規模かつ効率的な変換
- ・単純機械変換でなく、オブジェクト指向型Pure Java移行を実現
- ・AIエージェントが一定のアウトプット品質を判断、人間による精査/判断を極小化



02 マルチAI型モダナイゼーション



日々劇的に進化するAIテクノロジーのキャッチアップと選択、運用負荷から解放され、お客様はモダナイゼーションやDX推進に集中できます。

特長

最先端AIを最適編成し、最適な実行基盤を提供

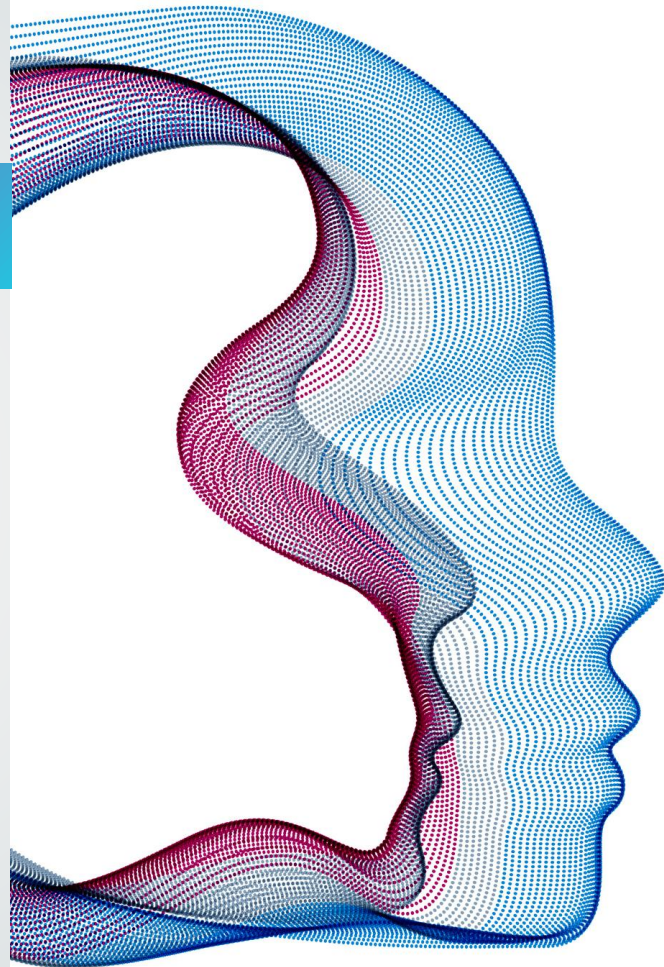
- マルチAI統合基盤【Fujitsu Kozuchi】（7月リリース時点では対象外）
- モダナイゼーションマイスター※によるAI実行設計

※レガシーからクラウド・AIまで幅広い技術に精通した富士通の専門家集団

優位性

AIとの連携により最適化された実行型マルチAI基盤

- AIと現場エンジニアが連携し、高品質かつ効率的なモダナイゼーションを実現
- プロジェクト特性に応じて最適なAIを活用し、品質と生産性を最大化
- AIの選定・運用負荷は当社が担い、お客様は変革推進に集中可能



03 ナレッジドリブン型モダナイゼーション



ナレッジエンジニアの確保が課題になりかねなかったモダナイゼーションを、場所と時間を意識せず、再現性・信頼性・確実性に優れた日本発のモダナイ実現を戦略的に推進します。

特長

AIが当社数千規模のプロジェクト知見を学習

- 数千のプロジェクト実績をベースとしたAIエージェント
- 継続学習による知見の高度化

優位性

モダナイゼーション成功の再現性・信頼性を高める ナレッジ活用モデル

- 属人依存を排除し、安定した品質で再現性の高いモダナイゼーションを実現
- エンジニアのリソースやスキルセットの制約を解消し、大規模案件にも柔軟かつ安定的に対応
- 当社が蓄積した豊富な知見を活用し、日本発の高品質モダナイゼーションを実現

04 自走化サービス基盤（順次提供）



お客様自身がモダナイゼーション、あるいはモダナイゼーション後の維持・メンテを実行するためのAIサービス基盤を順次提供します。

特長

お客様自身のAI活用を支援する自走化サービス基盤※

- 実践ノウハウをSaaS型サービスとして提供
- AI基盤に求められる機能を段階的に展開

優位性

継続的に価値を生み続けるIT基盤への転換

- 知見や資産を継続活用し、お客様自身が主体となる継続的な改善サイクルを実現
- ベンダー依存を低減し、内製化による経営の柔軟性と変革推進力を向上
- 市場変化に迅速に対応できるIT基盤の活用により、継続的な企業価値向上を実現

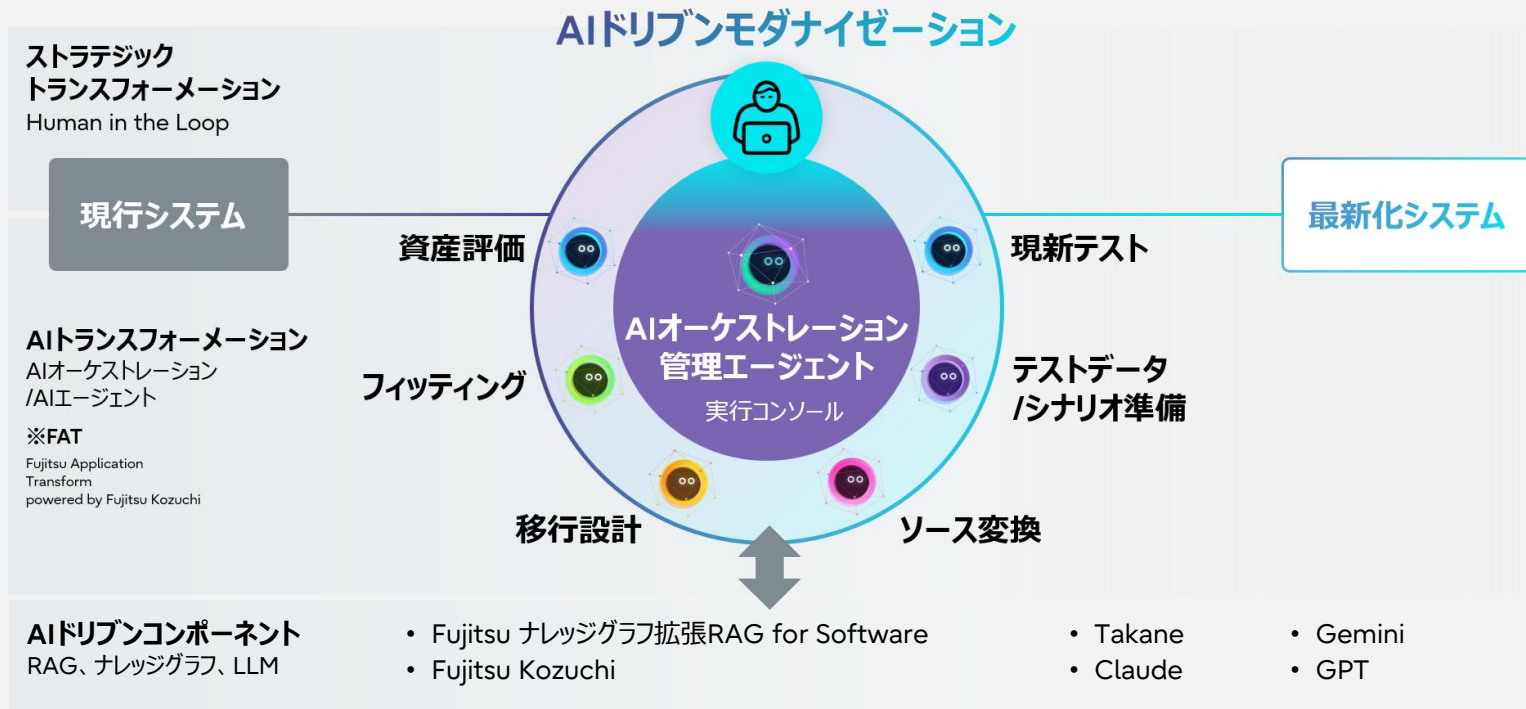
※モダナイAI基盤第一号として、設計書自動生成サービス「Fujitsu Application Transform powered by Fujitsu Kozuchi」の提供を開始（2026年3月30日）



AIドリブンモダナイゼーションの全体サービス概要

AIドリブンモダナイゼーションは、AIエージェントを活用した新しいモダナイゼーションです。

AIドリブンコンポーネントを基盤とし、複数のAIエージェントをAIオーケストレーションで制御した、自律性の高いアーキテクチャを採用しています。加えて、専門家の知識活用を戦略的に配置する事で、Human-in-the-loop（人が介在する仕組み）を実現。最終判断・補完を人間が適切に行うことで、品質の一貫性確保とリスク抑制を両立します。





更に詳しい情報はこちら

モダナイゼーションに関する お問い合わせ・ご相談

Webでのお問い合わせ

お問い合わせフォーム

当社はセキュリティ保護の観点からSSL技術を使用しております。

ご不明な点やご要望などございましたら、
お気軽にお問い合わせください。

Modernization

Leap Now

さあ、今こそ飛び越えよう その先へ